

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちよう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として、高齢化が進み、地域活動の参加者が減少し、また地域活動の担い手も活動の継続が難しくなっているのが現状です。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など、新しい生活様式に対応しながら地域活動への協力を行います。また外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制を継続・実施していきます。加えて今季は買い物支援サービスの構築に力を入れていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護者の集いを隔月で開催します。ほっとひとときの時間を増やし、特にミニコーナーでは、相談機関や認知症などの対応を伝える場づくり、家族支援を行っていくことで、地域の皆様との信頼関係を構築して参ります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域活動の情報提供を行うとともに、必要に応じて活動の場や気軽に立ち寄れる居場所づくりの支援を行い、社会参加を働きかけます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新しい生活様式に向けた取り組みとして、買い物支援（移動販売）やITCを上手く活用（「スマホ教室」）出来るよう支援していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コロナ禍で在宅ワークが増えてきたことで、家で子育てをしにくくなった現状があります。また、地域の子育てサロン会場も減少しているため、毎月第1月曜日に子育てネット連絡会共催で親子サロンを開催します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者支援に関わるケアマネジャーの質の向上のため、事例検討会の開催や、ケアマネジャーと民生委員との交流会などを開催します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○つどいは隔月での開催でしたがコロナ感染者が減少しないため昨年から引き続き人数制限をし開催日を増やして行いました。  
 内容も皆で話すだけでなくソーシャルディスタンスを保ちながら楽しめるものを（クイズ・ゲーム等）入れたり気分転換を図ったりしました。また、参加できない方へは「しゃべりんぼう」の案内にちょっと一言を記し、お手紙風にしてポスティングを行いました。  
 ○気軽に立ち寄れる場として、上飯田ふれあい広場で季節に応じた講習会を行っています。また地域ケアプラザにおいては、新規事業として「ちぎり絵講座」を行い、社会参加を働きかけました。地域の住民主体の活動は自粛しているグループが多くありましたが、活動中のグループには継続して支援して行きました。  
 ○スマホ講座は基本編からスキルアップ編までを開催し、次年度以降も継続開催していく予定です。「ヴィラ泉」の駐車場を活用した“出張販売”を8月から開始しました。地域の障害者施設やローソンと連携を密にし、いちよう団地での移動販売も支援しています。  
 ○親子サロンは毎月第1月曜日に開催し毎回Instagramで開催を告知しました。こども家庭支援課が開催している「赤ちゃん教室」と連携し、赤ちゃん教室に通っている方々への周知を行いました。また、子育てネット連絡会の皆さんの協力のもと、上飯田地区の未就園児と両親で参加できる取り組みをまとめた冊子を刊行し、広く配布しました。  
 ○虐待対応や独居認知症高齢者等の相談ケースに対して、同行訪問やカンファレンス開催等の支援をしました。ケアマネジャー同士で意見交換できるようケアマネ連絡会を開催しました。

区からのコメント

・男性の料理教室や配食ボランティアなど食事系の事業についても、感染症予防対策を工夫をした上で実施できています。また、親子サロンでは、毎回Instagramで開催告知を行い、SNSの活用にも積極的に取り組みました。スマホ教室では、高齢化率の高いエリアを担当しているため、基本的な操作方法に関する内容としているのは良い狙いだと思います。来年度はスキルアップ講座を検討するなど、今後もニーズが見込めるスマホやICT関連の講座の拡充を期待しています。  
 ・いちよう団地の取組はデータ分析からPDCAIに基づく発展的な事業展開ができています。移動販売は泉区アクションプランにも掲載させて頂きました素敵な取組です。今後も地域共生につながる住民主体の取組をリードしていくことを期待しています。  
 ・虐待対応含め、対応困難な方について他機関と連携し、問題解決への取組ができています。包括支援センターの機能について、インフォーマルサービスと合わせて周知するなど、活動理解のさらなる推進をお願いします。また、介護者のつどいでは、参加者のニーズに合わせて開催回数を変更するなど、細やかな配慮ができていました。来年度は、活動的に認知症サポーター養成講座を行っているキャラバン・メイトを中心に、エリア内でキャラバン・メイト連絡会の開催に向けた取組をお願いします。